

「AI 時代の科学」



略歴

氏名： 桜田 一洋

所属：慶應義塾大学医学部 医学研究科 拡張知能医学講座

1986 年大阪大学理学部生物学科卒業。1988 年大阪大学大学院理学研究科修士課程修了（小川英行教授）。協和発酵（株）東京研究所研究員、京都大学医学部で研究生を務め、1993 年理学博士（大阪大学）を授与。Salk 研究所の客員研究員、協和発酵（株）東京研究所の再生医療担当主任研究員を経て、2004 年にドイツ Schering 社により神戸に新設されたリサーチセンターのセンター長に着任。会社合併に伴い、Bayer Schering Pharma (BSP) ドイツ本社 of 再生医療本部長ならびにバイエル薬品の執行役員リサーチセンター長を務めた。BSP の戦略変更に伴い神戸リサーチセンターが閉鎖となり、米国シリコンバレーで iZumi Bio 社を立ち上げ、最高科学責任者としてバイエル薬品で開発したヒト iPS 細胞技術に移管。2008 年からソニーコンピューターサイエンス研究所上席研究員として、新たな生命理論と、医学と医療のための AI 技術の開発を開始し、2016 年に理化学研究所で、健康医療領域の予測の科学の開拓をはじめる。2021 年 4 月より理化学研究所 先端データサイエンス プロジェクトのプロジェクトリーダー。同年 10 月より現職。2023 年 10 月から大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点の特任教授を兼務。著書に『亜種の起源 苦しみは波のように』 幻冬舎（2020 年）。

生きがい

おごらず、過度な競争心を持たず、調和を愛し、今ここにいることに喜びを感じ、自然とは何かという問いから、創造に挑戦し続けること。若い時から、変えることのできないことを静かに受け入れる潔さ、変えるべきことを変える勇気、そして、その両者を区別する知恵を持ちたいと思ってきた。